

このマニュアルは、VFS-1BMC用のPC設定ソフトウェア、BMCマネージャーVer1.52 の使用方法について説明しています。このソフトウェアをご使用になる際には、Microsoft社 Windows2000,Xp,Vistaのいずれかが正常に動作しているパーソナルコンピュータが必要です。また、VFS-1BMCと接続するためには、ICSPCインターフェースまたは、ICS USBアダプターが必要であり、これが正常に動作している必要があります。

このソフトウェアは、フリーソフトウェアとして提供されますが、その著作権並びに法律上の諸権利は、近藤科学株式会社にあり、無断での複製、配布並びにリバースエンジニアリングなどについてはこれを禁止します。

近藤科学株式会社は、このソフトウェアが正常に動作するように、不都合の改修およびその他の情報提供などに努めますが、これを保証するものではありません。また、このソフトウェアをご使用になった場合の、直接並びに間接的に発生した損害等については、その責を負いません。

準備

アンプには走行用バッテリーを接続しておきます。ICSPCインターフェース又はUSBアダプターで、PCとアンプを接続します。電源スイッチをONにすれば、データアクセス可能です。まず、COMMポート番号をUSBアダプターに合わせます。(アダプター説明書参照)

(1)データ読みボタン

VFS-1BMCとの接続されている状態でこのボタンを押すことで、データがこのソフトウェア上に読み込まれます。ソフトウェア上にデータがある場合には、上書きされますので、必要なデータは保存してから、読み込んでください。

(2)モデルセレクトタブ

このタブで、加工したいモデルナンバーを指定します。書き込み時に選択するモデルも、このタブ通りになります。

(3)ニュートラルブレーキ

0 (OFF)から255 (MAX) の範囲でニュートラルブレーキの強さを設定します。ただし、(5)のブレーキ周波数にも影響されますので注意してください。

(4)進角の状態

アンプの電気進角の量です。0 (MIN)~2 (MAX)の3段階から選択可能です。電気進角は、モーターの進角と異なり、トップスピードのみに作用します。進角を増やすとトップスピードが上がりますが、消費電流も増えますので注意してください。

(5)ブレーキの周波数

右端の▼をクリックすると、任意のブレーキ強度が選択できます。周波数を低くするとブレーキが強くなります。ブレーキを強くすると、ニュートラルブレーキの効きも強くなります。

(6)下限電圧

ご使用のバッテリー環境に合わせます。

(7)VFS設定スライダー

上が低周波 (2 KHz) ~下が高周波 (12 KHz) の52段階の調整となります。

(8)直線で結ぶボタン

まず、(7) の設定スライダーのひとつを選択すると、下の青い枠は緑に変化します。その状態で、シフトキーを押しながらもう一つのスライダーをクリックすると、その範囲全体が緑になります。(範囲指定) シフトキーを離すと範囲指定が解除されますので、押したまま、(8)のキーを押すと、その間が直線で結ばれます。

(9)データ書き込みボタン

設定変更後、このボタンでアンプにデータを書き込みます。データは、すべてのモデルが一括して書き込まれます。



(9) (1) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (8)

(10)パソコンのディスク上のデータを読み込みます。

(11)パソコンにソフトウェアのデータを保存します。

(12)ソフトウェアを終了します。

(13)VFS-1BMCに現在表示しているモデルのデータ1件だけを書き込みます。

(14)VFS-1BMCから、現在セレクトタブで選択しているデータ1件のみを読み込みます。

(15)ソフトウェアのバージョンなどの情報を表示します。